

かごしま

あいら

市議会だより

No.36 9月定例会

令和元年11月30日発行

計画的・効果的な執行を	2
幼児教育・保育の無償化スタート	4
ここが聞きたい（一般質問）	7
委員会レポート	18
若者とコラボした紙面づくり	20
あん質問ないけんだった	23

予算

計画的

・効果的な執行を



▲現地調査を行いました(龍門滝温泉)



▲交換予定のカーテンウォールガラス

9月議会は、補正予算・決算・条例改正等の26議案と人事案件（諮問）が提案されました。特に、公共施設の整備改修のあり方と多発する火災への対応について白熱した議論が交わされました。

また、決算議案については決算審査特別委員会を設置し、慎重に審査しました。その経過と結果については、次号でお知らせします。



開かれた議会

- 行政視察・委員会の閉会中審査・会派の活動状況を報告します。
(18～21ページ)
- 議会基本条例を改正し、議会改革の更なる推進を図ります。
(22ページ)

条例

- 幼児教育・保育の無償化に伴い、関連条例の制定や改正が行われます。
- 旧氏を用いた印鑑も登録できるようになります。
(4～5ページ)

補正予算関係

- 補正予算額
8億2728万円
(予算総額316億6926万円)
- 龍門滝温泉の整備が進みます。
- 防犯灯LED化事業の拡充が図られます。
- 災害復旧が進みます。
(3ページ)
- 吉田清掃センターの解体工事が始まりま
す。
(6ページ)

補正

夢と希望をはぐくむまちづくり実現



住みよい県央都市
「あいら」を目指して身近な
事業をピックアップ

龍門滝温泉整備に 追加補正 2807万円

部品交換等が必要な箇所が、当初想定した以上に多数判明したことによる追加補正です。

Q 外灯などなぜ当初予算で計上しなかったのか。

A 外灯は、高反射ガラスの効果により高めるため1灯から2灯に変更したが、腐食度合いが進み強度がもたないこと。

カーテンウォールガラスは、当初設計ではガラス面の磨き清掃であったが、十分な効果が得られないこと。

また、小便器の配管との接合箇所から漏水しており、衛生面を考慮して

交換することにした。

【要請事項】

温泉施設については、長寿命化のためしっかりと整備し、今後清掃や管理がしやすい施設にすべきである。

災害復旧事業 1億4259万円

6月下旬から7月上旬までの梅雨前線豪雨災害による、災害復旧工事費・土地購入費及び立木等の補償の追加補正です。

Q 災害復旧事業は原形復旧しかできないのか。

A 災害復旧事業は、原形復旧が原則であり、3分の2の補助率である。原形復旧以上の改良工事を行うと、災害関連事業となり補助率が2分の1に下がる。

【要請事項】

災害復旧事業と災害関連事業は、補助率に差があることが確認できたが、災害復旧事業については、必要最大限の復旧に努めること。

防犯灯LED化推進事業 575万円

多くの申請により500基分の不足が生じたことによる追加補正です。

Q 急遽、補正予算計上された理由を説明せよ。

【要請事項】

今回集計がまとまり、設置希望が多かったこと、来年度の希望も多く、市民に役立つことを考えて、少しでも前倒ししていくことを検討した。

また、防犯・暴力追放協議会の委員からも早急にすすめた方がよいとの

意見もあった。

予算審査特別委員会では、補正予算について関係職員の出席を求め、現地調査を含めて詳細に審査しました。

議員間討議・討論を行い、採決の結果、補正予算を原案どおり可決しました。

【議会からの要請事項】

● 公共施設の整備、改修等を行う場合は、中長期的な維持管理の見通しを立て、計画的・効果的な予算執行を求めめる。

● 本年は火災が頻発しており、非常事態とも言える状況である。予算面で消防活動に支障が出ないよう留意し、火災予防、啓発にさらに努めること。

まとめ



▲最大限の復旧を(加治木地区中野)

条例

幼児教育・保育の無償化スタート！

子育て支援3つの条例改正。子育て支援、待ったなし！

子ども・子育てに関する条例の改正

幼児教育・保育の無償化を10月1日より施行するため、子ども・子育て支援法の一部改正がされました。

それに伴い関連する条例の一部改正を行うものです。

【主な質疑】

Q 内閣府令の文言ミスが報じられているが、問題はなののか。

A 自治体によっては、議案を取り下げたところもある。しかし、現場では支障がないことを確認している。

Q 無償化に伴い、待機児童の増加が予想される。保育の質を担保するような考えはないのか。

A 無償化がスタートして様子が見えてきてから要綱等作成する方が良いと考える。

【反対討論】

・そもそも消費税増税が財源であり、所得の低い世帯には恩恵は少ない。給食費は市町村が徴収し、減免の拡充など行うべき。認可外施設は、自治体が保育の安全、質の確保をするため基準条例や要綱を定め指導できるようにすべきである。

【賛成討論】

・質の確保、向上に向けた取り組みが重要であり、5年間に国と連携し、基準を満たすように導き、認可施設へ近づくよう総合的な対策を求めて賛成とする。

保育の質を確保するために、今後も継続して関係条例、要綱の検討を行うことを要望し可決しました。



可決
賛成19名
反対4名

▲すくすく育てあいらっ子！

家庭的保育事業に関する条例の改正

家庭的保育事業者による連携施設を確保する期限が5年から10年に改正されます。

【主な質疑】

Q 改正の理由を示せ。

A 家庭的保育事業における連携協力施設の確保が難しいためである。

【反対討論】

・認可保育所で連携施設を確保していたものを、

新たに企業主導型保育事業と認可外施設を追加したものである。規制緩和であり安心して預けることができるのか危惧する。

可決
賛成20名
反対3名

放課後児童健全育成事業条例の改正

放課後児童支援員の認定研修を、政令指定都市の長も実施できるという改正です。

【反対討論】

・政令指定都市の長を加えることで、資格が取りやすいという点はあるが、研修が緩和され、安易なものになっていく恐れがある。

可決
賛成21名
反対2名

条例

女性の権利向上 多様性のある社会の実現

一步一步、前へ前へ！

印鑑登録・証明に関する条例の改正

今回の改正は、11月5日から旧姓を用いた印鑑登録ができるようになるものです。

また、性同一性障害者等に配慮し、印鑑登録証明書における男女の別の記載を廃止します。

さらに、来年1月15日からコンビニエンスストアで、個人番号（マイナンバー）カードで印鑑登録証明書の交付ができるようにするものです。

Q 【主な質疑】
旧姓を用いた登録が

できることになるとの意義を問う。

A 旧姓のまま職場でキャリアを積んでいる女性たちが、旧姓を公的書類で証明することにより、より働きやすい環境実現を目的としている。

Q 男女の別を廃止する意義を問う。

A LGBTの方々への差別や偏見といったものが解消し、その人権問題が社会において理解されるものと考える。

Q コンビニ交付を具体的に説明せよ。

A コンビニ交付では印鑑登録証は使えず、個人番号（マイナンバー）カードのみが使用できる。暗証番号を入力し印鑑登録証明書の交付ができる。

【反対討論】

使用回数の少ない印鑑登録証明書発行のため、個人情報満載のマイナンバーカードを取得させ、窓口で顔の確認ができないコンビニ交付では、簡単に他人に証明書を奪取されてしまう危険がある。

【賛成討論】

女性やLGBTの方々への権利向上への第一歩である。



▲男女の記載がない書類

可決
賛成21名
反対2名

人権擁護委員の推薦に同意

人権擁護委員4人の推薦の諮問があり、全員の推薦に同意しました。

岩重 俊一（再）
加治木町本町



森元 佳和（初）
東餅田



黒木ひろ子（初）
平松



百武美津代（初）
蒲生町久末



人権擁護委員とは

各市町村長から推薦され、法務大臣から委嘱を受けた民間の人たちで、地域で様々な人権啓発活動を行い、人権相談を受けるなどの活動を行っています。

例えば、婚姻、離婚、近隣トラブル、子供の人権など、様々な人権相談を無料で行っており、秘密は厳守されます。（始良市ホームページから抜粋）

財産の取得と請負契約

議会の議決が必要な財産の取得1件、工事請負契約2件が提案され、賛成多数で可決しました。

災害対応特殊水槽付消防ポンプ車の購入

- ① 取得の方法
指名競争入札
- ② 取得金額
6334万6千円
- ③ 取得の相手方
鹿児島森田ポンプ株式会社



▲令和2年2月に導入される特殊水槽付消防ポンプ車

Q 特殊水槽付消防ポンプ車とはどういうものか。
A 水と消火薬剤を混合した消火泡で消火するため、消火水量が少なく、効率的な消火が可能となる。

吉田清掃センター解体工事

平成21年3月に稼働停止した鹿児島市旧吉田町にある、吉田清掃センターの解体工事請負契約を議決しました。焼却施設や煙突などの解体、ダイオキシン類などの汚染物質の適正処理を行います。



▲解体工事が始まる吉田清掃センター

- ① 契約の目的
吉田清掃センター解体工事
- ② 契約の方法
条件付一般競争入札
- ③ 契約金額
3億7242万7千円
- ④ 契約の相手方
吉丸・岩澤特定建設工事共同企業体
- ⑤ 工期
令和2年11月30日まで

Q 条件付一般競争入札とは何か。

A 工事規模が大きく、経営能力や適正な技術者配置のできる、特定建設業であることを入札資格条件に付けた。

Q 予算額（4億7704万3千円）と契約金額に開きがある。工事内容に違いはないのか。
A 杭抜き工事が入っていない。杭抜きの必要性について、法令により違いがあり、現在、鹿児島市と協議している。

宇都トンネル工事請負変更契約

トンネル本体工事で予定されていた掘削補助工法の必要がなくなり、請負契約を変更し減額します。

- ① 契約の目的
トンネル工事
- ② 契約の金額
変更前
8億7977万6千円
←
変更後
7億4129万7千円
- ③ 契約の相手方
南生・第一特定建設工事共同企業体

Q 請負変更契約は工事後でよいのではないか。
A 今後、変更になる特別な不確定要素はなく、追加工事はないと考え変更契約を上げました。

Q 完成予定（全面供用開始時期）を示せ。
A 令和3年3月を目標にしている。



▲交通の利便性向上に期待が高まっている新宇都トンネル



市民目線で市政を質す

ココが聞きたい！ 一般質問

一般質問は、議員個人が自分なりにの問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる唯一の機会です。今回は、19人が私たちの生活にかかわることについて質問や提言をしました。

テーマは自由

質問する内容は、議案とは関係なく議員が自由に決め、「通告書」に書いて締切日までに提出します。



質問時間は1人30分

一人あたりの質問時間は30分以内で、市からの答弁時間は含みません。



ホームページに 質問項目を掲載

質問項目は、事前にホームページに掲載。また、回覧でお知らせします。



ライブ中継

一般質問の様子（ライブ中継・録画映像）は、市議会ホームページからみることができます。

【検索ワード】

始良市議会インターネット中継



一般質問とは 議員が市の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点を質すこと。

宇都トンネル

契約前に工事着手

市長／業者の責任において許可



和田 予期せぬ湧水や落盤などで覆工に関する予算が足りなくなり、臨時議会において補正予算を議決した。

その後の定例会で工事請負変更契約議案が提出されたが、その契約議案の議決前に工事は着手されていなかったか。

市長 坑門の覆工をするにあたり、請負業者の方



▲掘削が完了し貫通した宇都トンネル(始良市側)

から変更契約議案議決後の着工では工期に間に合わないとの申し出があり、工事打合せ簿により許可した。

契約締結議案の議決前であったが、業者の責任においてなされたものである。

和田 度重なる工事変更指示書により工事がなされたようになっていたが、この指示書は、単なる事務的な文書に過ぎないのではないか。

市長 文書は国・県と同様のガイドラインにそつ

た書式である。

実際の工事は、工事打合せ簿に基づいて行っており、その後に変更指示書を作成している。

その他の質問

○校区コミュニティや自治会、各種団体と行政の関わり、自治会未加入者問題

湯川 6月・7月の大雨では、国道10号の通行止め、JR日豊本線の運転見合わせ、高速道路の通行止めがあり、鹿児島市内への通勤・通学に大きな支障をきたした。

整備については、国・県への働きかけが急務ではないか。

市長 毎年、国道10号については、鹿児島市と鹿児島東西・南北幹線道路建設促進期成会において、国土交通省及び同省九州地方整備局へ予算確保と整備の推進について要望活動を行っている。

また、鹿児島県鉄道整備促進協議会において要望している。

更に、災害に強い道路



豪雨対策

鉄道・道路の整備

市長／更に要望活動を続けていく

網や鉄道の整備などの要望活動を続けていく。

粗大ごみ運搬経費の推移は
市長／5年間で13%の増

湯川 粗大ごみ運搬経費の、5年間の経費の推移を問う。



▲災害に強い鉄道の整備が待たれる

市長 平成26年度は、1235万5千円、平成30年度は、1392万1千円支出し、5年間で156万6千円、13%増加している。

湯川 ごみ収集に関する随意契約の際は、十分な検討がなされているか。

市長 契約に際しては廃棄物の収集運搬等の委託基準に基づくほか、社会情勢の変化に対応した業務内容の把握に努め、精査している。

稲荷橋

歩道橋設置の検討・協議は

市長／構造的に可能か調査・研究する



田口 幸一
志成会



田口 過去に数回にわたり質問した稲荷橋の歩道橋設置について、考えていないとの回答であったが、その後、設置に関して検討および協議がなされていないか。

市長 新たな歩道橋設置は、多額の事業費（1億円）や有効な財源の確保が困難である。

本年、橋梁長寿命化修繕計画の見直し事業の中で、歩道の添加が構造的に可能であるかなど調査・研究する。

市道・農道の修復は
市長／適切な維持管理に努める

田口 道路破損箇所への修復はどのようになされているのか。

市長 市道においては、年次的な整備と応急修繕で対応している。

農道については、定期点検と現地調査により補修や地元へ資材補充を行っている。

痛みが著しい箇所は、多面的機能支払交付金活動組織による部分舗装や市単独事業に対応している。

今後も、適切な維持管理に努める。

その他の質問

- 耕作放棄地の管理
- 始良市の食糧自給率



▲稲荷橋の拡幅改良を

課題克服のための新事業の導入を

市長／検討する価値はある

生活排水処理行政



鈴木 俊二
市政クラブ始輝

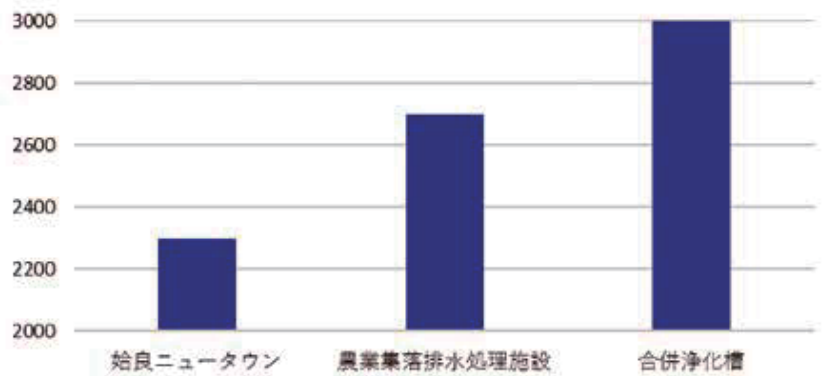


鈴木 高齢者にとっては、合併処理浄化槽への更新は経済的に難しい課題である。

家庭の施設により生活雑排水の処理負担金の格差の課題を克服するため、
※浄化槽市町村整備推進事業をPFI方式で採用し導入する考えはないか。

市長 本市の合併処理浄化槽の普及率はすでに75

家庭雑排水処理負担額/月



▲一般家庭での負担金額の差

%を超えており、個人負担の公平性や市町村設置型で整備した場合の管理業務、事業費の償還などによる財政負担も増加することから、個人型の浄化槽設置整備事業により合併処理浄化槽の普及に努める。

国は様々な助成金を準備し、そのまちにあったものを選択できるように

しているが、PFI方式での浄化槽市町村整備推進事業は検討する価値はあると考える。

※市町村が設置主体となって浄化槽を特定の地域を単位として整備し、し尿と雑排水を併せて処理することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とした事業。

保育士

確保の具体的な取り組み

市長／保育情報便や合同求人説明会を実施



本村 良治



本村 保育士の確保の具体的な取り組みについて説明せよ。

市長 現在、潜在保育士の掘り起こしを目的とした保育士等情報発信サービス「保育情報便」の実施や、ハローワークと連携した合同求人説明会を実施している。

また、処遇改善の取り組みとして、今年度から私立の認可保育所対象に保育士業務負担の軽減を目的とした諸事業を実施し、一般非常勤職員の月額報酬の引き上げを実施している。



▲ストレスチェックに取り組んでいる学校現場

ストレスチェック 教育長／市内の教職員を対象

本村 教職員のストレスチェックについてどのよう認識しているか。実施主体はどこか。

教育長 ストレスチェックは、平成27年12月の労

働安全衛生法の一部改正により各市町村教育委員会へ導入が促されてきた。本市では、平成28年度から教職員を対象に実施している。

ストレスチェックは、教職員の心理的な負担の程度を把握し、検査や面接指導でそれぞれのストレスへの認識をし、メンタルヘルスの不調を未然に防止することを目的に実施するもので、実施主体は市町村教育委員会である。

市民の安全

伊集院・蒲生・溝辺線の安全性の確保

市長／舗装改修を要望していく



国生 卓

志成会



国生 伊集院・蒲生・溝辺線の蒲生工区が完了すると、交通量が多くなることが予想される。

市民の安全性の確保のために、万全を期すべきである。

市としてどのような考えか。

市長 県と事前協議を行い、県において警察と交差点協議がなされており、



▲伊集院・蒲生・溝辺線の蒲生工区

安全性は確保されているものと考えている。後田橋周辺については、舗装改修を要望していく。

公用マイクロバス使用許可 市長／適正な運用に努める

国生 公用マイクロバスの使用の判断基準を問う。

市長 利用希望は数多くあると思われるが、「市

が主催・共催する事業、または国・県が主催する事業に参加する関係者を輸送する場合に使用できる」という規定により判断している。

使用についてはルールに従い、引き続き適正な運用に努める。

公共施設

メンテナンスを一元化

市長／総括的なマネジメントが必要



堂森 忠夫
志成会



堂森 公共施設の耐久性と長寿命化につながるメンテナンスを一元化した事業化を図れないか。
市長 現在374施設を管理しており、関係する課等の長が所管し、メンテナンス等の管理を行っている。

公共施設の再編、再配置、有効活用、効率的な維持管理を推進するため



▲腐食がめだつスクールバス車庫

には、施設に関する情報を一元化し、全庁的な視点を持った統括的なマネジメントが必要である。

公共施設マネジメント戦略会議等において、施設等のあり方を横断的に考え、適切な管理に努める。

特認校へ留学制度を創れ

教育長／多くの需要を望めない

堂森 義弘公没後400年記念事業を機に、伝統文化や自然体験を学ぶ教育の一環として、最低1年間は特認校へ留学が可能な制度を創り、青少年教育の向上を図れないか。
教育長 多くの需要を望めないことから困難と考

大型事業

将来のビジョン

市長／活性化を推進する



湯元 秀誠
市政クラブ始輝



湯元 スマートインターチェンジの全ての完成時期は、いつになるか。
市長 下り線出口は、令和2年1月24日、上り線入口は令和2年度末の完成を目指している。

ど、投資効果を活力につなぐ必要がある。
考えを問う。
市長 下久徳地区の定住促進や未活用民有地の活用に期待している。
周辺地域のインフラ整備を含めた活性化の推進に今後も務める。

湯元 総事業費、経済効果、将来ビジョンを問う。
市長 最終的に18億9千万円を見込んでいます。
開通により定住人口の増加、企業誘致による雇用の確保、交流人口の増加、緊急輸送道路の確保、大型商業施設などへの集客が期待できる。
また、1haを超える利用価値の高い「西之妻用地」の活用は、慎重な検討が必要である。



▲スマートインターチェンジで利便性が高まった始良市

災害対策

地区防災計画の策定

市長／地域防災力の強化



竹下日出志
公明党始良市議団



竹下 地域防災力の強化を図るため、自治会・コミュニティ協議会・自主防災組織等に、地区防災計画の策定を推進する考えはないか。

市長 地区防災計画は、地域防災力の強化および地域住民の防災意識向上に有効であると認識する。現在、内閣府、県危機管理防災局と連携を図り、



▲災害が起きた時、どう動くか話し合いをする(東塩入自治会)

地区防災計画の策定に必要なように、自治会・校区コミュニティ協議会等に働きかけや支援を行っていく。

ペットとの同行避難 市長／検討したい

竹下 本市でも、災害時にペットとの同行避難などのペット対策を進める考えはないか。

市長 避難所では、一定のルールを設けて、ペットを飼っている人も、そうでない人も、動物好き

その他の質問 ○高齢者の交通事故防止 対策

な人も、そうでない人も、共生できる環境づくりが必要である。

今後、災害時にペットとの同行避難ペット受け入れ可能な避難所等を引き続き検討したい。

開発目標

エスディージーズ

SDGsを市政に活かす

市長／総合戦略に提示を検討



新福 愛子
公明党始良市議団



新福 国連サミットで採択された持続可能な開発目標「SDGs」を、市政に活かせないか。

市長 持続可能な開発のための17の目標と169の達成基準からなるSDGsの観点からのまちづくりは、第2次総合計画の基本理念にも通じる。本年度策定の「第2期始良市総合戦略」の基本目標にSDGsに関する開発目標を併せて、提示する方向で検討を進める。

始業式・終業式にも給食を 教育長／それぞれの学校の考えを尊重

新福 学校により差異のある小中学校の給食を市内で統一し、始業式・終業式にも実施できないか。

教育長 それぞれの学校の教育課程編成の考えを尊重したい。

その他の質問 ○外国人児童生徒の就学 支援の現状と課題

新福 土曜授業日の給食を実施できないか。

教育長 当面の実施は、考えない。

新福 老朽化した加治木学校給食センターの建て替えを、急ぐべきではないか。

教育長 自校方式7施設も含め、調整を進めていきたい。



▲誰ひとり置き去りにしない、取り残さない「SDGs」のシンボル/バッジ

総合運動公園

整備の進捗状況と今後

市長／陸上競技場80%
多目的広場・駐車場60%



萩原 哲郎
志成会



萩原 陸上競技場の改修・新たな多目的広場・駐車場の進捗状況と今後を示せ。

市長 陸上競技場は本年4月に着工し、8月末において80%の進捗となっており、10月末の完成予定。

多目的広場・駐車場整備の進捗率は、およそ60%で令和2年度末に完成予定です。

萩原 駐車場や道路の白線が消えている。国体も間近にせまり、白線を引き直す考えはないか。

市長 駐車場の白線引き直しは、アスファルト舗装の痛んだ部分の補修と道路中央線と合わせて、改修計画を検討していく。



▲総合運動公園の整備が進み、多くの市民の利活用が期待される陸上競技場

建昌城跡地の整備計画

市長／国指定地以外の土地を活用

萩原 建昌城跡地の整備計画は、スポーツ振興・イベント・観光対策を考慮したものになるのか。
教育長 国指定史跡化と

文化財補助事業を活用した史跡公園整備を目指し、県文化財課から指導・助言を受けている。
スポーツ振興・イベント・観光対策を主目的とした公園整備は、国指定地以外の土地を活用して取り組む必要がある。

その他の質問
○稲荷橋に防犯灯・歩道橋設置

I・Uターン者に助成を

市長／移住支援金を補正予算で計上

人口増加

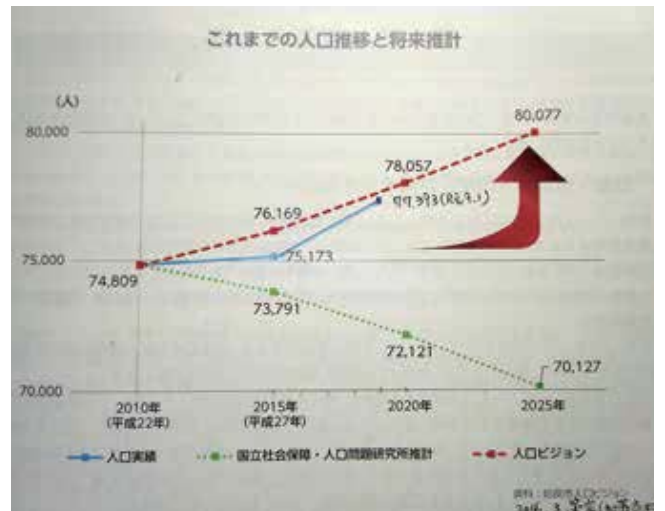


吉村 賢一
市民くらぶ



吉村 市人口は数年で減に転じるが、今は幼児を伴う家族の転入が多い。増加人口に占める割合と、財政的な収入・支出の影響を示せ。

市長 25歳から44歳までの年齢層の転入者が、増加に占める割合は約8割である。
人口の増加により、普通交付税の基準財政需要



▲2019年9月1日の始良市の人口

額の算定にプラス要素となり、就労で市税の増収が見込まれる。
支出では子育てに係る福祉・教育関係経費が増加する。

吉村 Iターン、Uターン者の受け皿として正規雇用する企業は何社あるか。
市長 助成を検討できないか。
市内に、病院や福祉施設等40社ほどある。東京23区から移住し、特定企業等に就業したら、移住支援金を支給する制度を今回補正予算として計上した。

吉村 Iターン、Uターン者の受け皿として正規雇用する企業は何社あるか。
市長 市内に、病院や福祉施設等40社ほどある。東京23区から移住し、特定企業等に就業したら、移住支援金を支給する制度を今回補正予算として計上した。

市制10周年

記念事業のイベント

市長／多くの市民参加を期待



松元 卓也
志成会



松元 来年は市制10周年の節目の年にあたる。

これらに関連したイベント等の内容やPRについて、その取り組みを具体的に示せ。

市長 今年5月に全庁的なプロジェクトチームを立ち上げ、協議を進めている段階である。

現在、記念式典については、令和2年5月24日に加音ホールで開催する予定としている。

PRについては、取り組み内容が決まり次第、ホームページや広報誌等により広く市民にお知らせしたいと考えており、多くの市民の参加を期待している。

シテイプロモーション

市長／戦略的に取り組む

松元 シテイプロモーションには、地域住民の愛着度形成や自治体の知名度の向上、地域の売り

込み「営業」も含まれる。本市のシテイプロモーションについてどのような取り組みか。
市長 市長自らのトップセールスを含め、あらゆる情報発信に努めている。保持している地域資源等を最大限活用して、戦略的に取り組んでいく。



▲あいらおほら祭り(イメージ)

市営住宅・空き家の活用は

住居活用

市長／災害時一時使用等に活用



洋 峯下
市民くらぶ



峯下 市営住宅・空き家バンクの活用は、なされているか。

登録の件数と累計利用件数を示せ。

市長 市営住宅の戸数は、1410戸であり、7月末現在の空き戸数は、197戸で入居率は86%となっている。

入居募集は、年3回実施し、空き住宅の活用で



▲逃げるときは私達も一緒にネ!

は、災害時等により住居不能になった方の一時使用等に提供している。

空き家バンク制度は、昨年まで88件登録、うち42件が成約。内訳は、売買28件、賃貸14件である。

ペット同行避難は

市長／引き続き検討

峯下 災害時では、ペットを飼っている家族は、行き場がないと聞く。

ペット同行避難は、今後の大きな課題になると思うがどのように対処す

る考えか問う。

市長 避難所内で人間とペットが共存していくためには、一定のルールを設けて、共生できる環境づくりが必要であると考えている。

今後も、災害時におけるペットとの同行避難、受け入れ可能な避難所等について、引き続き検討したいと考えている。

その他の質問

○経費節減

適応指導教室の利用状況

教育長／現在、21人が利用

不登校
児童生徒



岩下陽太郎
市政クラブ始輝



岩下 平成30年度及び令和元年度の不登校児童生徒のいる学校数及び人数を示せ。

教育長 平成30年度は、13小学校で35人、5中学校で151人が不登校の状態である。

出席日数が極端に少なかったのはごくわずかで、大半が出席と欠席を繰り返している状況である。

今年度は、7月現在で30日以上休んでいる児童生徒は、9小学校で17人、5中学校72人である。

岩下 始良市適応指導教室を利用したことのある児童生徒の人数を示せ。

教育長 不登校の児童生徒に対し、在籍する小学校または中学校への復帰を促すために、始良教室と加治木教室の2か所の適応指導教室を設置している。

子ども相談支援センター「あいびあ」が誕生しました

子どもに関する様々な悩みをワンストップで対応する相談窓口です。子ども家庭支援員や虐待対応専門員、教育委員会職員などの各専門相談員が対応。また、妊産婦などを対象に支援する「母子保健包括支援チーム」も加わり、みなさんをバックアップします。

いろいろな相談をお気軽に

児童虐待防止にも対応
つながるネットワーク

「あいびあ」が中心となり、児童相談所、警察、地域、学校・保育園などと連携し、児童虐待防止にも取り組んでいます。

始良市子ども相談支援センター「あいびあ」

住所 宮島町25番地(本庁舎5号館隣)

電話 66-3120

時間 平日、午前9時30分～午後5時(相談は9時～)

相談方法 電話相談、来庁相談、訪問(事前にお電話ください)

子ども保健課 66-3237

▲「あいびあ」でも不登校の相談ができます

平成30年度は、46人の中学生が利用し、そのうち、再び学校へ登校できるようにになった生徒が17人いる。

今年度は、現在21人が利用している。

※始良市教育委員会は、児童生徒が入院などの病気による欠席を除き、年間30日以上欠席した場合、不登校の状態にあると捉えている。

学校トイレ

洋式化の考え示せ

市長／整備スピードアップ



小山田邦弘



小山田 本市の小中学校のトイレ洋式化率は24・1%で、霧島市(40%)など県内他市と比べても低い原因は何か。

教育長 県自体が低いのが古くからある学校が多いことや、大規模改修が進んでいないことが原因と考えられる。

小山田 市内の公民館など他の公共施設(洋式化率38%)と比較しても学校のトイレ洋式化は遅れており、これまで大人たちが子どもたちのトイレ問題に無関心だったのではないか。

今後の整備計画の考えを示せ。

市長 トイレ整備は大事だと就任前から考えてい



▲洋式化の遅れで困っている子は多い

たが、しかし、それは観光地等を想定していた。大人の無関心の中に放り込まれて、学校のトイレ整備が遅れ、子どもたちが困っているのでは、整備を進めていかなければならない。

今、年次的に整備しているが、なんとかスピードアップし、子どもたちが不安にならないように検討していく。

ちが困っているのでは、整備を進めていかなければならない。

今、年次的に整備しているが、なんとかスピードアップし、子どもたちが不安にならないように検討していく。

農業問題

「家族農業10年」位置づけと施策は

市長／農業振興と家族経営協定を推進



堀 広子



堀 国連「家族農業10年」の内容と国の対応をどうとらえるか。

市長 企業の農業に対置し、世界の食料の8割以上を生産し、社会経済や環境面で重要な役割を担っている。

堀 本市の農業経営体数のうち、家族経営体数の割合はいくらか。

市長 割合は97・6%で



▲食を支えている小規模農業者

ある。

堀 食を支えているのは、家族農業である。

働く人も、農業所得も減少し、耕作放棄地は増えている。

持続可能な農業にするには、価格保障や所得保障が必要だがどのように考えるか。

市長 農家の意欲につながるので所得・価格保障が必要である。

堀 「家族農業10年」を本市では、どのように位置づけ施策を講ずるのか。

市長 国の制度資金や補

助事業を活用した農業振興と、労働時間や役割分担を決めた家族経営協定を推進していく。

堀 担い手育成には、専門の技術者を、また、家族経営協定や麦生産の販路問題など、解決策を問う。

市長 女性が働きやすく、経営参画が明確にできるよう推進していく。

水田の裏作活用も必要である。

○**その他の質問**

○**高齢者の負担軽減**

山田校区

地域振興策は

市長／地域の実情を考慮する



親 上村 市民くらぶ



上村 山田地区公民館移転・新築の考えを問う。

市長 高齢者が2階の会議室利用に不便を感じているとしたら、公民館全館を見直し、1階にも会議室を検討する。

上村 公民館・山田の凱旋門周辺の駐車場問題にどう対応するか。

市長 公民館敷地及び凱旋門奥の駐車場の他、JAあいら山田支所跡地に大型観光バスの駐車場がある。

上村 若者定住促進住宅の増築計画を示せ。

市長 校区内の他の公営住宅の入居状況や、児童数の推移等を考え、検討する。

上村 周辺に住宅団地の



▲山田にある若者定住促進住宅予定地

造成を考えないか。

市長 市土地開発公社と協議する。

上村 買い物弱者の救済として公設民営のコンビニ等の設置は考えないか。

市長 地域の実情を考慮し、校区に適した買い物施設を研究する。

避難場所の変更
市長／市防災会議で協議

上村 地区の要望として上名地区農村振興センターの避難場所を「里の駅山田川」に変更し、隣接の土地を買い上げ駐車場に無償提供できないか。

市長 隣接の土地の駐車場用地の必要性を含めて有識者等と現地調査している。

その意見書を基に、市防災会議で協議、検討する。

避難

災害時の支援

市長／整備を行なっていく



有川 洋美



有川 災害時、福祉施設
介護施設、医療施設への
支援はどのようになっ
ているのか。

市長 今後、必要な物資
機材の備蓄等の確保や支
援について検討する。

有川 福祉避難所は二次
避難所となっている。

福祉避難所に行かなく
てはならない方は、福祉
的・医療的支援が必要で
あるが、指定避難所（一
次避難所）で対応できる
体制になっているのか。

市長 一次避難所では、
福祉的・医療的支援が対
応できる体制にはなっ
ていないので、今後、調査・
研究していく。

温泉保養券の利用改善 市長／利用拡大が可能であるか検討

有川 障がい等のある18
歳～70歳未満の方対象の
温泉保養券を、移動手段
にも利用できるように改
善する予定はないか。



▲「着脱式」車いすの緊急避難装置

市長 健康・長寿支援チ
ケット「あいあい」の利
用状況の推移を見ながら、
厳しい財政事情も考慮し
つつ、障害者保養券の利
用拡大が可能であるか検
討していく。

本市初!



火災多発非常事態宣言



今年、火災が多発し
ていることから、市は、
初の「火災多発非常事
態」を宣言し、市民の防
火意識の徹底に努め、火
災件数の減少と被害の軽
減に努めました。（10月
1日～11月15日）
この問題は、9月定例
会でも話題になりました。
一般会計予算審査特別委
員会において、補正予算
を組んでも防火意識の
啓発に取り組むべきでは
ないかということが、議
論されたのです。

議会としては、この実
態を重く見、一般会計予
算審査特別委員長の報告
において、防火意識の啓
発に取り組むことを執行
部への指摘事項としまし
た。
これに呼応するように
して初めての「火災多発
非常事態宣言」が発せら
れました。
議会と行政が防火意識
啓発という、同じ方向を
向いて動き出した瞬間で
した。我々、議会も改め
て声をあげて参ります。
火災は、人の意識で防
ぐこともできる災害でも
あります。火の取り扱い
が増える今、「火の用心」
をお願いします。

文教厚生 常任委員会

子どもからお年寄りまで
健康で文化的な暮らしを
市政に求めます！

委員会
レポート



休会中に主に3つの調査研究を行いました。

1つは、10月スタートの幼児教育・保育の無償化の勉強会です。復習も兼ねて、具体的な制度の運用を学びました。

2つ目は、高齢者福祉施設の視察です。かねて予算のなかで協議している高齢者福祉の現場で直に要望を聞くなどして実態を学んで参りました。

最後は、今年度の委員会の研究テーマである動物愛護条例を補足研究するために、猫カフェを視察訪問しました。

勉強会

幼児教育・保育 無償化

豊かな人間性を培う幼児教育の機会の保障や子育て世帯の経済的負担を減らすことを目的に、10月から幼児教育・保育が無償化されます。

このことは、6月定例会において補正予算の中で審査してきたことでもあります。

しかし、国の意向で緊急に制度化されたものであり、詳細なところを確認する意味で、再度勉強会を開催しました。

無償化の初年度でもあ

るため、特に、対象者と認定の仕組みを復習しました。

対象者は3〜5歳の全ての子どもと0〜2歳の住民税非課税世帯の子どもとなり、3〜5歳の障がい児の発達支援施設の利用も含まれます。

保育サービスや無償化による給付を受けるためには給付認定が必要となります。すでに保育所や認定こども園などを利用していている場合は1〜3号認定を受けており、これらの認定に変更はありません。

未移行幼稚園を利用している方、認定こども園の1号利用者で預かり保育の利用を希望する方、認可外保育施設などを利用している方は無償化による給付を受けるために新1〜3号認定を受ける必要があります。



視察

高齢者福祉施設 やすらぎの里

高齢者福祉施設「やすらぎの里」は、特別養護老人ホームやデイサービスセンター、グループホーム、小規模多機能ホーム等を集積した施設です。

まず、各施設の見学から始めましたが、一通り巡るだけで1時間は必要とする広さがあります。

老人福祉サービスのオール・イン・ワン施設であるため、どのような状態でも施設内で対応でき、また専門家が多いのも魅力になっているようです。

施設見学の後、行政との連携を中心に意見を交わしましたが、中でも感心したのは、「災害時対



応」でした。

今夏の台風や大雨の時の送迎の危険性や一人暮らしの方の避難支援も考えて、中山間地域の利用者の方は先んじて宿泊利用してもらうことで、先行避難させていたとのこと

です。高齢者福祉施設からこうした防災・減災のアプローチは、行政も今後連携を増していく必要があるとの共通認識を得ました。

施設訪問にはインターン学生も同行し、福祉の現場を共に学びました。

質疑で「若者が敬遠しがちな職場だが、若者へのアプローチは？」という発言があり、施設単体ばかりでなく、業界として若者対策を図っていると答弁をいただきました。

視察 猫カフェ そらのしっぽ

委員会では、今年度の研究テーマを動物愛護条例例としています。

9月定例会には地域猫活動の陳情もあり、保護

猫による猫カフェ「そらのしっぽ」を視察しました。

猫カフェのオーナーは、鹿児島市を中心に保護活動をされており、今春、加治木に猫カフェを移転されました。

市民からの問い合わせなどをお聞きすると、深刻なものが多いとのことでした。

高齢者の多頭飼いや飼い主の死亡・介護状態で飼えなくなった猫の保護を求めるものが多いそうです。

ヒアリングをさせていただく中で、動物を飼う人の責任を明確にしていくことの重要性を再確認しました。



産業建設 常任委員会

農林水産業から道路、
住宅まで、ハードもソフト
もまちづくりします

委員会
レポート



意見

農業が抱える問題を、土地改良区のみならずと協議しました。

交換

産業建設常任委員会は、休会中の調査研究として、7月30日、市内全8土地改良区との意見交換会を行いました。

議題は、①用水路・農道、②耕作地・農業従事者が減ることでの課題についてとし、お互いに忌憚のない意見交換を行いました。

①用水路・農道

用水路について、木田土地改良区から「実質の

続いて、「人家の排水と用水路を分ける方法は

ないか。下流区間は排水路にしても良い。木田用水沿線で合併浄化槽に切り替えるのは100軒のうち年間1、2軒である。」という実態と要望が語られました。

これについて議員からは、「市民は水路使用料を15年以上納めている。管理できない水路は市に移管すべきだ。」との意見がありました。

また、三叉土地改良区からは「越水せぬよう水路の肩を嵩上げて欲しい。」、蒲生土地改良区からは「パイプラインができたので水路側溝を市に移管したいが受け取ってもらえない。」、

三叉土地改良区からは「用水路は延長が長い。幅2〜3mが2本あるが、寄り洲で葦が繁り、水田が冠水する。」といった声が寄せられました。

これらについて議員から、「場所を特定した上で、対策を検討する必要がある」という声がありました。

他に「合併浄化槽があれば、用排水路を分ける必要があるか。」「黒島神社下流のトンネルがよく詰まる。井堰の整備を優先して欲しい。」「都市化で排水が問題。」「中津野は溢れると、道路と水路が分からない。山田川山下井堰から大山に分岐する素掘りトンネルが崩落する。転倒ゲートの調整が大切だ。」などの意見がありました。

意見交換の結果、「下水道整備（排水路新設等）を進めていかなければならない。」との方向性を双方で確認しました。農道については、三叉と蒲生から舗装の要望が



▲受益者負担が発生する農道

あり、原則として農道の舗装は行わないこと、舗装するには受益者負担が生じることを説明しました。

続いて、「多目的利用を考えると、受益者負担25%でも舗装した方がいい。」「農道を一般車が通りガタガタになっている。」「などの声がありました。

議員から「一般車の通行が耕作の妨げにならないか。」「という問いがあり、「繁忙期には入口に看板を立て一般車に協力を呼び掛けている。」という実態が語られました。

②耕作地・農業従事者が減ることでの課題

まず、「相続されてない農地が多い。相続をなるべく早めにしてもらい、農地集積できないか。」「という要望があり、議員から「農地中間管理機構で賃貸はできる。」「H21以降、名義替えしない時の罰則規定が出来ます。」という答弁がありました。

この他、「従来360町歩の水田が60町歩に減っている。」「農業法人を立ち上げている。営農組合で圃場整備を行っており、2年目に60代が1人加入してくれた。」「役員になり手がいない。」「集約・集積が必要。」「深水・豊留地区は集落排水事業により、負担金補助が無くなった。耕作放棄地が多い。」といった声がありました。

意見交換を経て、委員会としては、今後とも継続的に課題を分析し、執行部に提言していくことで合意形成しました。



▲土地改良区との懇談会

聴取広報 特別委員会

先進地を
研修してきました。

委員会
レポート



▲八尾市役所「河内音頭の特徴をとらえた踊り像」

視察 甲賀市

10月17日・18日、滋賀県甲賀市・大府八尾市の両市議会に、広報広聴特別委員会7名が、議会だよりの作成状況を中心に、広報のあり方について視察を行いました。



▲甲賀市役所「ソファーは手裏剣型」

甲賀市は、「甲賀忍者」や「信楽焼」が有名な人口約9万人のまちで、今回連続テレビ小説「スカーレット」の舞台にもなっています。

議会だよりは、若い議員を中心に作成され、自由な発想と鋭い感性からアイデアをもらいたいとの思いから、高校生の意見を聞く、モニター会議を行い、紙面の大変身を図りました。

さらに「若者・女性モニター会議」を実施し、グループワークで意見交換などを行っています。

視察 八尾市

八尾市は、「河内音頭発祥の地」とされる人口約26万6千人の住宅と産業を併せもつ大阪市の近郊都市です。

議会だよりは、平成11年から市政だよりと合冊（編集は別々に行ない、製本時に合冊）となり、配布については、委託契約により市内の全世帯、企業に配布しています。編集方針として、伝える紙面づくりから伝わる紙面づくりへ、議会に興味・関心を持ってもらえ

るような記事、身近な暮らしにつながるような記事を心掛けるようにしています。

紙面の見づらさ等の課題へ対応するため、リニューアルの検討を専門家へ依頼し、イラストレーターを活用するなど、平成23年12月号を手はじめに、マイナーチェンジを繰り返しています。

また、高校生とコラボした様々な取り組みを行っており、表紙・題字には部活の作品や活動写真を採用するなどしています。

視察を終えて

両市とも、高校生など若い人たちとの関わりを重視した活動や、スマートフォン用アプリ『マチイロ』で市政だよりと併せ議会だよりの配信も行っています。

また、音読CDの作成をするなど、視覚障害の方への配慮もされています。

議会だよりの配布は、行政連絡員の負担軽減のため、新聞折込を利用していますが、全世帯への配布努力が期待されています。広聴は、各常任委員会



若者と コラボした 紙面づくり



で審議・調査した内容から、市民のみなさんに身近なテーマを選び、報告会と意見交換会を行なっています。

本市でも、議会だよりのリニューアルに向けた取り組みを検討中であり、両市に代表されるような取り組みは、参考になるものと思います。

広報広聴特別委員会のあり方も含めて、今後検討委員会を立ち上げるなどして早急に検討していきます。



会派活動

“こんな活動をしました”

昨年度より、政務活動費が交付されるようになり、4つの新しい会派が結成されました。今回、令和元年度上半期（4～9月）に、政務活動費を使った各会派の活動状況をお知らせします。

なお、政務活動費の使途の詳細については、ホームページで公開していますのでご覧ください。

りんご教室 公明党始良市議団 市政クラブ始輝

両会派は合同で、「健康を軸にしたまちづくり」に取り組んでいる先進地（日置市と南さつま市）を研修視察しました。両市とも、健康モデル都市の実現を地域の活性化に繋げていくことを目標に官民共同で様々な健康増進事業に取り組んでいます。

中でも、体験型医学教室「りんご教室」は、健康意識の向上に繋がる取り組みを集中的に行うことにより、健康づくりの重要性を理解する風土を醸成しています。

結果として、市民の健康増進及び医療費抑制のほか、賛同する住民同士の交流拡大や移住定住の促進につながっています。

この「りんご教室」は、日置市や南さつま市のほか、今年から水俣市でも取り入れられています。本市でも健康寿命の延

伸と生活の質の向上は挑戦すべき事業であり、会派としても今後の展開が進むよう取り組んでいきたいと考えています。

りんご教室とは

個人における健康維持・増進の意識向上、また事業者を含む地域全体における行動促進を図るため、毎週（全8回）開催する体験型健康医学教室。



シティプロ モーシヨ ン 志成会

本会は、本庁舎建設基本・実施設計業者が決まったことや、来年迎える市制10周年記念事業へ対応するため、兵庫県高砂市と川西市の取り組みを視察しました。

高砂市は、駅前広場の整備や新庁舎建設事業など、複数の大型事業に着手しています。

特に、新庁舎については完成イメージ動画を作成し、建設工事の状況やスケジュールなど広く市民に知らせています。

また、川西市は、市制施行60周年記念事業とそれらの取り組みを市内外に発信する絶好の機会とし、シティプロモーシヨンの推進事業を展開しています。

このような取り組みは本市でも重要で、すぐにも対応できる施策であることから、一般質問で取り上げ提案しました。



シティプロ モーシヨ ンとは

地方自治体が行う「宣伝・広報・営業活動」を総称して呼ぶ。

生ごみの堆肥化 市民クラブ

本会では、生ごみの堆肥化について先進事例を学ぶため、日置市の丸山喜之助商店本社を視察しました。

日置市では、家庭から出される生ごみを分別・回収し、生ごみの焼却量の削減を目指す「生ごみモニター回収処理事業」に取り組んでいます。



ごみの焼却により発生する二酸化炭素を削減することで、地球温暖化防止に貢献するとともに、ごみ焼却にかかる費用を抑制することができます。また、回収した生ごみを堆肥化し、自治会や農業生産法人に無料配布することにより、循環型社会を目指しています。

この研修を基に会派の3人が一般質問を行い、生ごみ回収の前倒しやプラスチックゴミ問題などを追及しました。

なお、生ごみ回収については、始良市衛生協会も積極的に検討する模様です。

始良市議会の改革は止まらない!

改革を止めないための議会基本条例を審査中!



始良市議会では、議会及び議員の活動について基本理念を明確に掲げ、開かれた議会を実現するために平成24年3月に始良市議会基本条例を制定しました。

条例には、市民の付託にこたえるとともに、開かれた市議会の実現を目指すことが記載されています。

この目標を達成するためには、市議会として更なる改革を行い、そして継続し続けることが必要であると考へ、議長が議会改革推進検討委員会へ諮問し、7名の委員が選出されました。

委員会では、どのような課題をどのように対応していくのかを検討していきます。

現在は、改革を止めないために、12月議会へ議会基本条例の改正を行うよう、審議中です。今後の審議・検討していく内容はご報告していきます。

議会改革推進検討委員会

委員長 犬伏 浩幸
副委員長 岩下陽太郎
委員 上村 親
竹下日出志
有川 洋美
堂森 忠夫
小山田邦弘



▲全体会(議員同士で審査内容を更に深掘り)



▲班会(執行部説明に対する質疑等)

令和元年第3回定例会において、平成30年度決算関連議案が上程され、決算審査特別委員会に付託されました。

委員会は、閉会中審査となり、第4回定例会が

開催されるまでの間、審査を行います。

皆さんが納めた税金がどのように使われたのかをチェックしていきます。詳しい内容は次号にて

開催されるまでの間、審議部等への質疑、現地調査、議員間討議を行い、詳細な審査を行っていく予定です。

3つの班に分けて、執行部等への質疑、現地調査、議員間討議を行い、詳細な審査を行っていく予定です。

詳しい内容は次号にてご報告します。

只今、決算審査中!

限られた財源で最大の効果を答えは、かけ算だ!

学校の空き教室を活用した、「建昌小放課後児童クラブ」を訪ねてみた。

どうする? 放課後対策

子ども政策課
福祉部



学校教育課
教育部

どうする? 空き教室



追跡

あん質問な いけんなった



追跡

市立幼稚園、小中学校のクーラー

これまでの経緯

合併当初から定例会において、複数の議員が市立幼稚園、小中学校へのクーラーの設置を求めていましたが、多額の費用負担がネックになっていました。



事態が大きく変化

平成30年11月、国の補正予算として「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」が成立しました。それを活用する形で、平成30年第4回定例会にて市立幼稚園、小中学校の普通教室等に空調機を設置するための設計委託料並びに工事請負費が計上され、承認されました。

予算額 15億1253万円



設置は無事完了！

しかし、まだまだ懸案事項も？

本年6月に入札が行われ、7月より随時工事が着工され、9月20日までに該当する全ての教室にクーラーが設置されました。現在、絶賛運用中で、快適な環境の中で学習や業務が行われています。

しかしながら、運用基準や電気代、メンテナンスの方法など、懸案事項が出てくるので、議会としても最善の形で運用されるようにチェックしていきます。



▲あいら市議会だより No33号P3より



第11回 クイズ

何おどり?



ヒント

この踊りは五穀豊穡と牛馬の無病息災を祈り、住吉神社に奉納されます。

クイズに答えて図書カードをゲット

○応募方法

官製ハガキかメールに答え、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、議会事務局にお送りください。

「あいら市議会だより」へのご意見、ご要望等も大歓迎です。

○締切り

12月末日 当日消印有効

正解者の中から、抽選で6名の方に図書カードを進呈します。

○あて先

〒899-5492 始良市宮島町25番地

「始良市議会事務局」

メールアドレス gchosa@city.aira.lg.jp

ご応募いただいた方の個人情報は、ご意見への回答、抽せん、図書カードの発送以外の目的には使用しません。

委員長
副委員長
班長
副班長

広報広聴特別委員会

議長 森川 和美

編集・発行責任者

犬伏 幸
有川 浩
萩原 洋
小田 哲
山田 邦
湯元 秀
松元 卓
岩下 陽
湯之原 一郎
竹下 日出
新福 愛
和田 里
和野 志
峯下 洋

傍聴席から



女性 (70代)

●子連れでも状況によっては傍聴できると知り、とてもうれしく柔軟な対応をしていただいたことに感謝しています。(70代 女性)



男性 (70代)

●傍聴者が少ないので市民一人ひとりがもう少し議会を傍聴され、今、始良市ではどのような一般質問がされているのかを直接議会で聞くことが望ましいです。(70代 男性)



女性 (70代)

●災害時対応については行政側もしっかり答弁されていると思いましたが、議員の質問を聞いているうちに実際は災害時の現場はとても混乱するだろうと予想されました。市はさらに深化した対応と準備をお願いします。行政側も議員も女性が少なく残念です。(70代 女性)



女性 (20代)

●初めて始良の議会を見させていただいたが、課題が様々ある中で何から先に解決をしてしていくべきかを考えて施策を行っていくべきだと感じました。自分は鹿児島市内に住んでいて、鹿児島市の議会はまだ聴いたことがないので、聴いて比較してみたいと思いました。(20代 女性)



男性 (20代)

●初めて議会に傍聴席からではありますが、参加して自分が思っていたより、問題が多く、少しずつ解決しているところと、解決していないところがあり、何で全体的に少しずつ解決ができなくなっているのかと思ってしまいました。優先順位はあるとは思いますが、もし今の子ども達が大人になっても同じ問題で議論しないようにしてほしいと思いました。これからも議員さん達にも頑張っていてほしいです。(20代 男性)

傍聴席へどうぞ

車いす席もあります

令和元年 第4回定例会は、11月26日開会予定

編集後記

厳しい秋風が吹く中、令和元年の運動会も開催されました。今年一杯「集団行動」を取り入れる学校もあり、呼吸を合わせる学校もなりました。本日は10月1日、初が「火災多発非常事態」が宣言されました。この火災予防でもあり、技の宣言が、子ども達の技のようになり、呼吸を合わせ一体となり、火災や事故のない始良市を創っていくチャンスに変わります。

竹下日出志